

地区補助金事業報告

地区補助金を利用しコインソーターとパソコンを寄贈

社会福祉法人おおの福祉会(廿日市市大野)が運営する知的・身体・精神障がい者用授産施設「ワークハウスアダージョ」にコインソーター(貨幣選別計数機)及びパソコンを寄贈しました。

プロジェクトの概要

私たち広島東ロータリークラブは、おおの福祉会の「障がい者が社会で働くことにより生き甲斐が持て、自立生活を送れる基盤作り」の理念に賛同し、障がい者自身が生産・販売したもの(主としてパン)の対価を自らカウントできるためのコインソーター及びチラシ等の作成・外部への発信ツールとしてのパソコンを寄贈しました。寄贈式終了後、早速障がい者の皆さんと一緒に当日のパンの売上金を利用して、コインソーターのテストをしてみました。障がい者の人が大量のコインを数えるのは、実際には大変な作業なのですが、機械を使うと一瞬の間に出来てしまい、自分達の労働の成果が瞬時に数字となって出てくる様子に、皆さんから大きな歓声があがりました。今回寄贈したコインソーターとパソコンが、障がい者の皆さんの自立生活を送れる基盤作りに役立つことを願っています。



9月19日贈呈式
(ワークハウスアダージョにて)



寄贈品の開梱



寄贈後のフォローアップ

おおの福祉会の船倉理事長(当クラブ会員)には11月28日の例会において、施設の現況及び寄贈品がどのように活用されているかについて卓話をいただきました。多くの会員が本件への理解を深めることにより、全員参加型のプロジェクトを目指しています。

